

## 見張りの徹底、早期避航！

7月に入って、北海道内では、漁船による衝突海難が7隻発生しています。

これらの海難は、幸いにも、乗船者の死亡や船舶の沈没には至っていませんが、衝突は、重大な二次海難に繋がりがねないものです。

原因は、衝突海難の多くを占める、見張り不十分とみられます。

操業やマリンレジャーが活発となる時期に入っており、漁船やプレジャーボートが混在する状況にあるため、見張りを徹底するとともに早めの避航判断で、事故を防ぎましょう。

### 【衝突海難防止のポイント】

#### 見張りの徹底

操業中、釣り中であっても、しっかりと周囲を見張り、接近する船舶を早めに発見しましょう。また、発見後は、危険な見合い関係になっていないか継続して監視しましょう。

#### 早期避航

避けてくれるだろう、大丈夫だろうと臆断せずに、十分余裕のある時期に避航しましょう。

#### 大幅な避航

避航する際は、相手からも判るように大きく避航しましょう。

#### 自船の明示

特に小型船は、大型船から発見されにくいことがあるので、相手船から発見しやすいようにレーダーリフレクターや目立つ色の旗などで明示しましょう。

#### 死角の把握

自船の死角を把握するとともに見張る際には、見張る位置を変えながら、死角に他船や物標が隠れていないか確認しましょう。



### 簡易型AISの活用

AISは、雨や波の影響を受けず、天候等により相手のレーダーに映らない場合でもお互いの位置、針路等を容易に確認できます。

簡易型AISは、比較的安価(10数万円程度～)に購入でき、無線従事者の資格がなくても操作できます。

ただし無線局の免許申請は必要です。

お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2643,2644)、FAX 0134-27-6193

海の安全情報ホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>



海難隻数及び海難による死者・ 行方不明者数(速報値)	
6月	4隻、0人
平成28年累計	49隻、2人